

## ◆研修報告◆

「過去は財産 人生の伏線回収は、始まっている」  
2月9日(金) ゆうらいふ理事 岡田 啓子氏  
子ども会活動、副生徒会長、青年団団長と、幼少期より「やりたいこと」にチャレンジする人生を送られてきた岡田氏。「やりたいことは先延ばしにしない」とのお話は説得力がありました。また、「引き出しを持つ。中は時々断捨離をして、最新の情報をプラスする」と新しい価値観を自分の中に取り入れるよう努力し、地域活動に新たな風を吹き込む姿に多くの学びと活力をいただきました。

「震が関の生活から学んだこと～仕事、しごと、仕事?～」 2月16日(金)

元国土交通省住宅局長・消費者庁長官 伊藤 明子氏  
現在 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター顧問  
女性の正規雇用比率は30代以降に急落する「L字カーブ」を描き、大学進学率では男女の差はないにも関わらず国家資格登録者数や役員就任数における女性比率は依然低い日本の現状。「アンコンシャス・バイアス」(無意識のうちの偏見)も原因となっているなど、次々と興味深い話を聞かせていただきました。伊藤氏は仕事に向き合うとき「本質をとらえる」「多角的にみる(虫の眼・鳥の眼)」「あきらめられるようにやる」を意識されているとのこと。また、仕事は「やるべきことか?やりたいことか?やれることか?」を考えることが大切だとお話されました。伊藤氏のバイタリティに圧倒されながらも、学ぶことの多い研修となりました。

「日本の社会保障、ここが問題!」 3月1日(金)  
お茶の水大学名誉教授 袖井孝子氏

「NPO法人高齢社会をよくする女性の会」の副理事長も務められる袖井氏は、ジェンダーの視点から様々な審議会委員に参画、また日本の社会保障制度確立への提言を行ってこられました。日本は、国民皆年金・皆保険制度など世界に誇れる素晴らしい制度を持つ一方で、ピラミッド型人口構成を前提としたままの制度運営や世帯単位の社会保障などが課題と指摘。女性の経済的自立と逆行する第三号被保険者制度の見直し、世帯単位から個人単位の社会保障への転換、全世代型社会保障制度、ジェンダー平等の社会保障制度などの実現を目指し、志を共にする仲間と奮闘されているとのことでした。私たちも制度の抱える問題点に目をそらすことなく、より良い制度となるよう理解を深める必要があると感じました。とても貴重な学びを得ることができました。

## 専門職によるコラムコーナー プロフェッショナル リレーコラム

Vol.23  
介護福祉士  
なおまさ まこ  
直正 真子



ゆうらいふに入職し、早3年が経ちました。結婚を機に守山に引っ越してきたので土地勘がなく、最初は慣れない中での送迎業務でした。利用者さんが抜け道や近道を教えてくださり、また親切に助けてくださったおかげで今日まで働いてこれました。  
大正琴を演奏したり、レクリエーションでショートコントをしたりと、日々、楽しみながら自分の殻を破って成長させてもらっています。  
休みの日は、三上山に登ったり琵琶湖パレイの景色を楽しんだりして、夫と一緒に守山の豊かな自然を満喫しています。



バトンを渡した人:小西沙希さん(介護福祉士) 2024年1月号登場

## 新入職員のご紹介

●2024年1月以降に入職された方です



★島田由美さん  
(らいふステーション憩い)



内田加苗さん★  
(リハビリサポートすいれん)



★赤井元子さん  
(リハビリサポートゆうらいふ)



穂積咲希さん★  
(ゆうらいふナースステーション)



★川上詩子さん  
(リハビリサポートゆうらいふ)

ゆうらいふ ●デイサービス ●総合事業 ●事務局  
〒524-0214 守山市立田町1231-4 ☎077-585-4070

すいれん ●グループホーム ●デイサービス ●保育所  
〒524-0001 守山市川田町1541-4 ☎077-584-2772

花 梨 ●小規模多機能型サービス ●グループホーム ●保育所  
〒524-0214 守山市立田町4135-1 ☎077-599-0531

憩い ●居宅介護支援事業所 ●小規模多機能サービス  
●ナースステーション●ヘルパーステーション●定期巡回  
〒524-0014 守山市石田町735-3 ☎077-584-2300

特定非営利活動法人ゆうらいふ  
事務局  
守山市立田町1231-4  
TEL: 077-585-4070



【Web】 <https://www.youlife.ne.jp>  
【メール】 [info@youlife.ne.jp](mailto:info@youlife.ne.jp)

# ゆうらいふ通信

2024年4月号



## トピックス

ゆうらいふエッセイ  
好評更新中!

NPOゆうらいふ



- 新年度のごあいさつ
- 職員紹介
- ゆうらいふトピックス
- リレーコラム「プロフェッショナル」
- 外部講師による職員研修報告 など

## 新年度のごあいさつ

常務理事 杉若奈津美

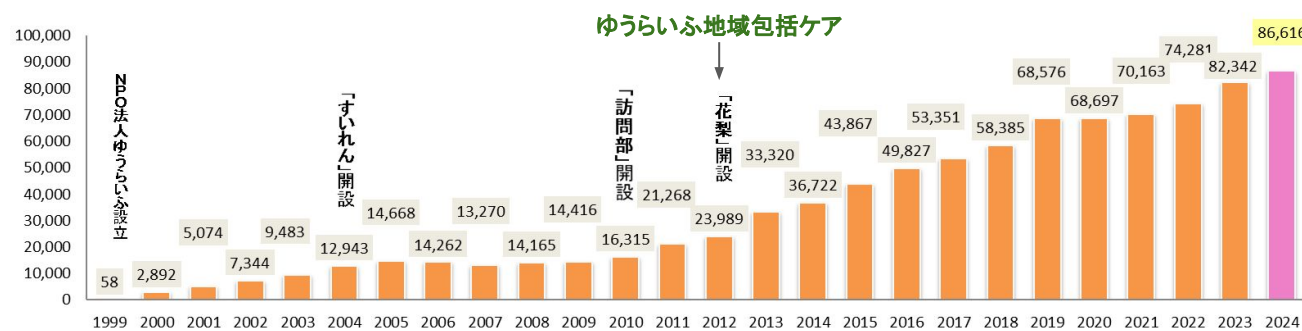


令和6年度のはじめにあたり、新年度のご挨拶を申し上げます。今年度はサービスの充実と多様化に力を入れます。職員の待遇改善と介護保険改正に伴う対策にも積極的に取り組みます。一層のサービスの質向上に向けて、職員一同切磋琢磨し以下のことに取組んで参ります。

- 1) 訪問部を拡充(3.4人の増員)し、より柔軟なサービス提供を行います。
- 2) 花梨保育所の定員の増加と新築移転【2025年(令和7年)4月1日開設にむけた準備】定員14名から25名に増員し、市内の待機児童の解消に寄与します。
- 3) 外国人材育成・確保事業  
将来の人材不足への対策として、外国人の方と共に学び・働ける職場づくりを開始します。
- 4) 仕事の見える化により無駄の排除・介護サービスの充実と多様化  
働きやすい職場作りと労働生産性の向上を図り、職員の処遇改善を行います=D X

2024年度の利用者延数は86,616名(対前年105.1%)を計画します。職員ひとりひとりの知恵と経験を活かし“住み慣れた我が家で最期の時まで!!”を実践して参ります! 本年度もご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

ゆうらいふ利用者延数推移(人)



### 春の味覚 手作りいちご大福

【花梨】すっかり春の恒例行事となった「いちご大福」のおやつを頂きました。利用者家族様の手作りでもとても美味しいです。大きな苺に『豪勢やなァ! 春らしいわ!』と喜んで下さいました。



### 田中様より車いす2台を寄贈いただきました

【すいれん】昨年12月にグループホームで看取りをさせていただいた利用者家族の田中様に、車椅子2台を寄贈いただきました。編み物がお得意で、地域の方に教えておられたそうです。膝掛や鍋敷きなど沢山編んでくださいました。とても穏やかで凛とされ、人のお付き合いが上手な方でした。家族様より寄付をお申し出いただき、車に積みやすい車椅子をお願いいたしました。田中様の想いと共に大切に活用し、どんどんお出かけしていきたいと考えています。



### 日本臨床倫理学会で2名が発表しました

3月16~17日、順天堂大学で「医療・ケアの基盤としての臨床倫理」のテーマで日本臨床倫理学会第11回年次大会が開催され、職員2名が発表しました。  
●深田知洋江「グリーンケアから学ぶ地域包括ケアの実践～臨床倫理四分割を活用したACP～」  
●淵上操「在宅看取りを支えた訪問看護とケアマネジメント多職種との連携」



順天堂大学にて

## 事務局 入職のごあいさつ



事務局 次長  
浅田 逸規 (あさだ はやき)

趣味は、家族や友達、時々1人で行くキャンプと年1回フルマラソンに出場することです! 写真は2月の大阪マラソンに参加した時の写真です。



皆様、はじめまして。2024年2月1日に入社した浅田逸規と申します。以前は特別養護老人ホームの施設長や医療法人での人事や介護事業に携わってまいりました。この度、理事長の先見性や視野の広さ、専務理事の地域や福祉の想いに共感し、ゆうらいふに入社させていただくことになりました。介護・福祉業界において、「人材」が重要であることを強く感じております。これまでの経験を生かし、ゆうらいふで働く皆様がより働きやすい環境を築き、ゆうらいふの発展に貢献したいと考えております。

## 『一日1日を生きて・生ききる・このまちで』 ～住み慣れた我が家・守山で最期の時まで～

人生の最終章をどのように過ごそうか?…と問いを巡らす方々が増えてきました。守山市は病院医・地域の医師・訪問看護師・訪問介護等の連携が密にでき、一人暮らしでも我が家で最期まで暮らせる体制が整っています。ゆうらいふはケアマネジャーが10人以上活動し医師・看護師と連携して日々の生活を支援しています。今年の医療・介護保険制度の改正で更に『守山市地域包括ケアシステム』が整ってきました。～医師・看護師がいるので安心:ケアワーカーの支えでもっと安心～



## 介護福祉士・社会福祉士 合格おめでとうございます!

- 介護福祉士  
●橋本佐緒里さん (リハビリサポートゆうらいふ)  
●堂本さくらさん (リハビリサポートすいれん)  
●原田裕希奈さん (リハビリサポートすいれん)  
●松浦由美さん (リハビリサポートすいれん)  
社会福祉士  
●中西実保さん (リハビリサポートすいれん)



左から橋本、堂本、松浦、中西